

令和6年度 特別支援学校実習助手等研修会

8月1日に、県内の特別支援学校の実習助手等を対象とした研修会を実施しました。

研修会では、講義や演習・協議を通して、国や県の特別支援教育の現状や施策、障がいのある児童生徒の理解と対応、特別支援学校における実習助手等の役割等について学び、実習助手等としての資質の向上を図りました。

講義1では、国や県の特別支援教育の現状や施策、共生社会の理解、合理的配慮の提供等についてお伝えしました。

講義2では、障がいのある生徒の理解と対応、教育的ニーズの整理、校内連携の場面や方法等についてお伝えしました。

演習・協議では、研修者一人一人が生徒の気になる行動の背景・要因を考え、ワークシートに整理しました。そして、整理した背景・要因について、研修者同士が対話し、さらに深く掘り下げました。その後、掘り下げた背景・要因を踏まえた支援策を研修者同士で考えました。演習・協議を通して、実感を伴った気付きや学びをしていた様子が見られました。



講義 1



講義 2



演習・協議

研修者からは、「多面的・総合的に生徒を理解する大切さを知ることができた」、「生徒の行動の背景・要因を探ってから、生徒の支援策を考えていきたい」、「生徒の実態把握をしたうえで、担任や授業担当者とともに手立てを考え、チームで生徒の支援に取り組んでいきたい」等の感想が寄せられました。

本研修を通して、研修者は、これまでの生徒に対するかかわり方等を振り返ることができたようです。今回の学びや気づきを実践に活かすとともに、校内でチームとして生徒を支えていただきたいと思います。